佐野市立界小学校　校長室だより第9号

令和2年12月1日

界の子

2020年も残すところ一月となってしまいました。世界中を震撼させている新型コロナウイルス感染症で、今までにない一年となりましたが、お陰様で418名の界っ子は、変わらぬ笑顔で元気に年の瀬を迎えることができました。

今年も、保護者の皆様や地域の皆様に支えていただき、誠にありがとうございました。どうぞ皆様、よいお年をお迎えください。

【学習ボランティアの皆様、お世話になりました】

今年度も、5年家庭科(ミシン)、3･4年図工(のこぎり･くぎ打ち)、2年生活科(町探検)で、ボランティアの皆様に大変お世話になりました。お陰様で安心して楽しく取り組むことができました。

ボランティアの皆様、コーディネーターの皆様、お忙しい中ありがとうございました。

違うから、すばらしい。違うから、仲良くしよう

１１月３０日(月)から１２月４日(金)は、校内人権週間です。

人権教育は全ての教育活動の土台となっていますが、この機会に改めて、生きていることのすばらしさや仲良くすることの大切さを各学級で考えていきたいと思います。

国語の教科書にも出てくる詩人の『まど・みちお』さんは、２０１４年に１０４歳で亡くなりました。１００歳を過ぎても優しく心が温かくなる詩を作りました。

誰もが一度は歌ったことがある「ぞうさん」も、まど・みちおさんの作品です。

♪　ぞうさん、ぞうさん、おはながながいのね
　　そうよ、かあさんもながいのよ　♪

「ぞうの子は、鼻が長いねと悪口を言われたときに、しょげたり腹を立てたりする代わりに、一番好きなかあさんも長いのよと誇りをもって答えた。それは、ぞうがぞうとして生かされていることが、すばらしいと思っているからです。」と、まどさんは説明しています。

人と違うことを気にして卑下したり、人を差別したりするところからいじめは生まれます。「違うことこそが、すばらしいことなんだ」と受け止められる自信を、多くの子どもたちに持ってほしいと願っています。

いつも〇〇さんと同じでなくていいのです。違っているからすばらしいと自分に自信を持ち、だからこそ互いに仲良く歩んでいこうとする界っ子を全職員で育てていきたいと思います。